

基礎看護学実習Ⅰ 評価表

茨城県立看護大学 看護学科

実習期間: 令和 年 月 日 ~ 月 日	学籍番号・氏名	教員サイン
----------------------	---------	-------

目標1 地域の人々の生活の場に、多様な看護の場があることを理解できる。

	評価規準	評価対象	評価基準				学生	教員
			10点	8点	6点	4点		
1	各施設の目的、機能と役割を述べることができる。	事前学習 実習記録 行動 言動	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について具体的に述べることができる。	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べることができるが具体性が不足している。	事前学習の知識をもとに、実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べているが一部不足がある。	実習オリエンテーションや実習体験を通して、施設の特徴や役割について述べているが不足がある。		
2	各施設を利用している対象の特徴を理解できる。	実習記録 行動 言動	施設を利用している対象に関心を寄せ、対象の特徴を具体的に述べることができる。	施設を利用している対象に関心を寄せ、利用している対象の一般的な特徴を述べることができる。	施設を利用している対象へ関心を寄せているが、対象の特徴について一部不足がある。	対象への関心が薄く、偏った視点で対象を捉えている。		
3	地域にある看護の場と生活の場のつながりが理解できる。	事前学習 実習記録 行動 言動	地域の人々の生活の場と看護の場が繋がっていることを、事前学習および実習の体験をもとに説明できる。	地域の人々の生活と看護の場が繋がっていることを実習の体験をもとに説明できる。	地域の看護の場と生活のつながりについて、断片的な説明にとどまる。	地域にある看護の場について説明できない。		

目標2 健康段階に応じた看護活動の場、機能及び役割を理解できる。

4	それぞれの場での看護活動が理解できる。	実習記録 行動 言動	それぞれの場における看護活動の内容について、実習体験を踏まえて具体的に述べることができる。	それぞれの場における看護活動の内容を、実習体験を踏まえて述べることができるが概ねできる。	それぞれの場における看護活動の内容を、実習体験を踏まえて述べることができるが一部不足がある。	それぞれの場における看護活動の内容について、不足が多い。		
5	看護の活動の場や内容は対象によって変わること理解できる。	事前学習 実習記録 行動 言動	対象によって看護の活動の場や内容がどのように変化するかを、事前学習および実習での体験をもとに説明できる。	対象によって看護の活動の場や内容が変わることを実習での体験をもとに説明できる。	看護の活動内容が変わることは理解しているが、対象との関連については断片的な説明にとどまる。	看護の活動内容が対象によって変わることを説明できない。		
6	自己の看護観	終了時課題	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきや考えの変化を体験をもとに記述できる。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきや考えの変化を記述できる。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づきを記述しているが自己の考えは欠けている。	実習前と実習後と比較して、自分が考える看護について、新たな気づき自己の考えが記述できていない。		

目標3 看護学生として望ましい態度をとることができる(言葉遣い、身だしなみ、主体的な学習姿勢)。

7	専門職としての基本的な態度	観察 行動 言動	看護学生として誠実に対応できた。 <input type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 言葉遣い <input type="checkbox"/> 身だしなみ <input type="checkbox"/> 相手を尊重した態度	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題が残るが、改善の必要性に気付くことができた。	何れかに課題があり、自分本位であった。		
8	保健・医療・福祉チームの一員として責任を果たす基本的行動	観察 行動 言動	責任を果たす基本的行動がとれた。 <input type="checkbox"/> 事故防止 <input type="checkbox"/> 感染防止 <input type="checkbox"/> 個人情報の取り扱い <input type="checkbox"/> 時間管理 <input type="checkbox"/> 提出期限 <input type="checkbox"/> 記録物の取り扱い	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題があり、その課題を繰り返した。または何れかの課題により、相手に影響を与える可能性があった。	何れかの課題により、相手に影響を及ぼした。		
9	報告・連絡・相談ができる。	観察 行動 言動	報告・連絡・相談が適切にできた。 <input type="checkbox"/> 時期(タイミング) <input type="checkbox"/> 内容 <input type="checkbox"/> 方法(誰に、どのように)	何れかに課題があったが、改善できた。	何れかに課題が残るが、改善の必要性に気付くことができた。	何れかに課題があり、その改善の必要性に気付くことができない。		
10	主体的な学習姿勢	事前学習 観察 行動 言動	教科書や参考書、授業資料を用いて不足なく学習をして実習に臨んでいる。見通しを立てた学習ができる。	教科書や参考書、授業資料を用いて学習をして実習に臨んでいる。実習中にわからなかった事柄について積極的に質問し、教科書や参考書等を用いて自ら学習している。	教科書や参考書、授業資料を用いて学習に取り組んでいるが、やや不足がある。かつ、実習中にわからなかった事柄について、促されれば質問や学習ができる。	学習に多く不足があり、学習課題に取り組んでいない。かつ、実習中に課せられた課題に対して学習をしていない。		

合計	合計
評定	

### 1. 実習施設の概要

#### 1. 病院とは

#### 2. 実習病院の概要

※理念・基本方針・特徴・組織体制・診療科・病総数・職員職種・数など

#### 2. 訪問看護ステーションとは

※目的、主なサービスの内容、利用対象者、職員、訪問看護ステーションのしくみ

#### 3. 笠間市（こども政策課・健康医療政策課・地域包括支援センター）

※担当事業概要

#### 4. 看護職について

専門看護師とは（定義・役割・資格取得の条件・専門分野）

認定看護師とは（定義・役割・資格取得の条件・看護分野）

特定行為に係る看護師の研修制度とは

#### 5. 実習中に聞きたいことや確認したいこと

#### 6. 実習に向けて準備すること【知識・技術・態度（健康状態含む）について考えよう】

基礎看護学実習 I 記録 2  
実習 ( ) 日目

茨城県立看護大学校 看護学科  
学籍番号 \_\_\_\_\_

本日の実習目標

時間	スケジュール	見学したこと (看護師・保健師・助産師が実施したこと)	見学した内容から、 感じたことや気づいたこと
本日の実習の学び			
指導者サイン		教員サイン	

基礎看護学実習Ⅰ 記録3

学内まとめ

茨城県立看護大学校 看護学科  
学籍番号 \_\_\_\_\_

<テーマ> 「実習を通して学んだこと」

.....  
<カンファレンス後の学び>

「実習を通しての学び」について、カンファレンスを通して学んだことと自己の課題について記載しなさい。

1. あなたが思う看護師の役割について自由に記入してください（実習前）。



1. あなたが思う看護師の役割について、実習での経験をふまえて現在の考えを記入してください（実習後）。